

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 5年 11月実施分]

まず、アンケートの回答方法について、生徒用は昨年度より、保護者用は今年度より紙のアンケートからグーグルフォームでの回答に切り替えた。どちらも紙での回答もできるようにしたが、保護者からの回答率が大幅に減少した。全学年集計で昨年度比4割程度の回答であった。[保護者回答数 R4:609 (/823:74.0%) →R5:246 (/810:30.4%)]

以下、生徒用アンケートの集計結果を中心に分析していく。

全学年集計では、「21 授業以外で一定時間、毎日勉強している。」以外の全ての設問で肯定的回答率が前年度より低下した。この結果を真摯に受け止め、次年度への課題として改善していきたい。

A 学校の様子について

「1 学校に行くのが楽しい」については、[全学年：78.2% (R4:82.6%)、1年：77.0%、2年：83.3%、3年：74.2%]が肯定的回答であった。

経年結果では、2年生は昨年度より1.1% (R4:82.2%→R5:83.3%) 上昇し、一方、3年生は昨年度2年次より8.3% (R4:82.5%→R5:74.2%) 低下した。

さらに、「2 本校の部活動は活発で、充実している」は、全学年集計で昨年度より7.7% (R4:87.2%→R5:79.5%) と大幅に減少[1年：75.7%、2年：84.1%、3年：78.5%]した。

本校の特徴でもある部活動を活性化させるためには、生徒主体の活動を推進していかなければならないが、ここ数年で生徒の部活動に対するニーズが変化してきているように感じる。社会的背景も考慮し、これからの部活動の在り方を再構築していく必要がある。

B 授業について

「5 授業の内容はわかりやすい」の肯定的回答率が、全学年集計で前年度より9.8% (R4:82.1%→R5:72.3%) と大幅に低下[1年：84.2%、2年：83.3%、3年：78.9%]した。

また、「7 先生は生徒の質問に丁寧に答えてくれる」や

[全学年：82.8% (R4:85.8%)、1年：87.6%、2年：82.1%、3年：87.5%]

「8 先生は、教え方に工夫をしている」についても、

[全学年：81.5% (R4:83.3%)、1年：86.1%、2年：81.7%、3年：82.0%]

昨年度より若干低下しており、「授業アンケート」などを分析し、さらなる工夫・改善をしていかなければならない。また、1人1台端末の活用も積極的に取り入れており、ICTを効率よく授業に活かす工夫をさらに推進していかなければならない。今後も研修を積み重ね、積極的に活用できるようにするとともに、互いの成果を共有し研究に努めていきたい。

C 進路指導関係について

昨年度の分析から一変し、全学年集計の4項目すべての設問において、肯定的回答率が前年度より低下した。

「9 将来の進路や生き方について考える機会がある」(R4:86.2%→R5:81.1%)

「10 進路に関して必要な情報が適時・適切に提供されている」(R4:85.4%→R5:80.2%)

「11 進路に関しての先生からのアドバイスは適切である」(R4:84.4%→R5:82.2%)

「12 進路に関して先生との面談はよく行っている」(R4:56.6%→R5:56.0%)

しかし、「12 進路に関して先生との面談はよく行っている」の2・3年生の経年比較を見ると2年(R4:45.9%→R5:56.9%)、3年(R4:51.3%→R5:64.4%)共に10%以上向上している、きめ細やかな進路指導の取り組みが窺える。

D 行事・団活動について

全学年集計の4項目すべての設問において、肯定的回答率が前年度より低下した。

「13 学校行事は、充実している」(R4:87.2%→R5:79.9%)

「14 団活動は、有意義で本校の特色になっている」(R4:88.3%→R5:82.4%)

「15 桜高祭 体育の部は楽しく充実している」(R4:90.1%→R5:83.7%)

「16 桜高祭 文化の部は楽しく充実している」(R4:86.8%→R5:80.9%)

しかし、桜高祭直後の独自アンケート「桜高祭の取り組みに対しての生徒アンケート」においては、満足度が一昨年度並みに回復[R3:89.3%→R4:82.4%→R5:88.9%]している。今年度の数値が決して低いわけではないが、このことを真摯に受け止め、学校全体の行事について、検討しさらなる発展に向けて取組んでいかなければならない。

E 生活指導・保健関係について

全学年集計の4項目すべての設問において、肯定的回答率が前年度より低下した。

「17 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」
(R4:87.5%→R5:82.2%)

「18 学校生活について、先生方の指導は納得できる」(R4:76.3%→R5:71.6%)

「19 いのちの大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」(R4:92.1%→R5:86.4%)

「20 学校には、生徒の悩みごとを聞き、相談にのれる体制ができている」
(R4:85.5%→R5:78.1%)

「命の講話」や「赤ちゃん先生プロジェクト」、さらに「人権講話」など、その内容は充実している。また、今年度より「教育相談委員会」を立ち上げ、教員間での生徒情報の共有は進んだと考えられるが、今後それらをどのように実際の生徒への指導につなげていくかが課題となってくる。多様なニーズに対応するためにも研修等を深め共有し、教育実践に活かしていかなければならない。

F その他

「21 授業以外で一定時間、毎日勉強している」の全学年集計では、肯定的回答率は、昨年度より4.5%向上（R4:33.8%→R5:38.3%）した。

[1年：30.5%、2年：34.3%、3年：49.8%]

また、2・3年生の経年比較を見ると2年（R4:25.9%→R5:34.3%）、3年（R4:31.3%→R5:49.8%）と大幅に向上した。学習支援クラウドサービスの活用が浸透してきたと考えられる。3年生は、受験対策として、1・2年生も使用頻度が上がり、家庭学習の定着につながり始めたようである。また、教員研修を重ね、積極的に活用してきたこともその要因の一つであろう。

「22 交通安全に対する意識が高まり、時間に余裕をもって登下校できている」の全学年集計で、肯定的回答率は昨年度と同等（R4:78.3%→R5:78.2%）であった。

[1年：76.1%、2年：82.0%、3年：76.4%]

交通事故も大事には至らないが起きているので、命の大切さと関連させ、生徒の意識向上を図る。

「24 校内の清掃は行き届いており、清潔で安全な環境を維持できている」の全学年集計で、肯定的回答率は昨年度より低下（R4:78.9%→R5:70.5%）した。

[1年：77.2%、2年：77.1%、3年：82.4%]

清掃点検の数値は良好だったが、場所によっては、大変汚れている個所も目に付く。日頃の清掃活動から見直していく必要がある。

「25 リサイクル促進活動やボランティア活動に積極的に参加している」は、今年度新たに設けた設問であるが、その肯定的回答率が予想よりも低い結果となった。

[全学年：50.7%、1年：43.8%、2年：55.2%、3年：52.8%]

来年度以降の目標達成のためにも、日ごろの指導のさらなる積み重ねが必要だと考える。